平成31年：1月号

発行日：平成31年1月15日

生　和　糖　業　株　式　会　社

発　行　・　編　集　：　業　務　部　原　料　課

	11　月				12　月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本 年	24.0	18.0	21.1	46.5	21.0	16.2	18.6	120.5
平 年	23.2	17.5	20.3	154.3	20.1	14.1	17.1	93.5
平年との差	＋ 0.8	＋ 0.5	＋ 0.8	－107.8	＋ 0.9	＋ 2.1	＋ 1.5	＋27.0

生和糖業株式会社
代表取締役社長　　田中　睦生

新年あけましておめでとうございます。

喜界島における製糖は昨年の12月10日より開始しております。昨年9月末の観測史上2番目に強い暴風をもたらせた台風24号は、皆様のご自宅や倉庫などの家屋に甚大な被害をもたらせただけでなく、圃場の乱倒伏により刈取り作業・集荷作業が大変な状況となり、ご苦労のこととお察し申し上げます。
一方、今年度の操業は、圧搾計画が76,000トンを見込み、年内操業を通年より早めに開始しましたのは、能力不足で老朽化した脱葉装置の能力アップ・更新を行うためであり、余裕を持った操業計画としてスタートいたしました。しかし、12月においては雨も多く、乱倒伏の影響もあり、さとうきびの圧搾計画（850トン／日）に対し、平均圧搾量は（722トン／日）と計画に対し大きく未達であります。工場の成績にも大きく影響しておりますし、搬入計画量に対し3,000トンのマイナスで年末を迎えております。
この脱葉装置の能力アップ・更新は、人口減少と高齢化が進んでいく喜界島の中で、島の基幹作物である「さとうきび産業」の機械化に対応するための大切な更新工事あります。行政のご支援をいただき、（公財）喜界農業開発組合と喜界町役場が中心となり、設備の入札・発注を行っており生和糖業も「喜界島さとうきび産業への貢献」のため全面的に協力しております。
2019年/20年のキャンペーンを支障なく行うためには、工期などを考えると計画通り3月21日までに本製糖を終わらせなくてはなりません。
生産農家・関係者の皆様におかれましては、諸事情をご理解の上、JAの割当て計画にご協力いただき、計画的な刈取り・搬入をお願いいたします。我々生和糖業も、日々状況を確認しながら、町役場、JAをはじめ関係各位と密接な情報の共有化・連携を図ってまいります。皆様方と一致団結して、これからの喜界島の持続的な発展のため、重ねてご理解・ご協力をお願い申し上げます。
最後に、年明け以降の製糖期におけるさとうきびの品質が向上し農家の皆様及び関係者にとって良い収穫となります様に祈念しております。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さとうきび生産振興大会（11/22）

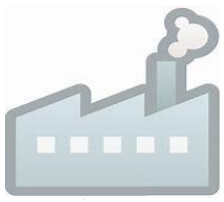
11月22日 喜界町自然休養村管理センターにおいて『平成30年度 喜界町さとうきび生産振興大会』が生産農家関係者、約120名が来場する中 開催されました。

町長　川島　健勇

昨年度は台風被害により、品質面で低く生産農家の皆様にとっては大変厳しい状況であったと思います。
本年につきましては、梅雨明け後も適度な降雨があり順調に生育していると期待しておりましたが、9月・10月の相次ぐ台風による倒伏、折損、塩害により量・品質両面で影響が心配されております。
このような事から「農業共済」「収入保険」に加入いただいて、自然災害・品質管理の面で安定した経営が出来るようにお願いしたい。
これから始まる収穫作業において、事故が無い様にと祈願して、挨拶を締めくくった。

今期の操業計画

きび処理見込	76,000 t
搬入圧搾開始	12月10日
搬入終了予定	3月21日
操業終了予定	3月24日
洗缶日予定	2月13日 14日



平成30年度（29/30年期） さとうきびづくり優秀農家表彰

単収の部（優秀賞）

生和糖業　工場長
肥後　剛

今期のきびの生育は台風の被害は甚大でした。10月以降、天候に恵まれ若干回復傾向で今後の成長と天候によって品質上昇をきたいしているところです。
また、現在製糖期の稼働していますデトラッシャーの老朽化・処理能力等の観点から設備更新が決定しました。そのような事も含め早めの操業計画に至りましたので皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。
最後に台風被害に合われました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

『さとうきび共済制度と収入保険制度について』

大島農業共済組合喜界支所　石原　良貴　氏

さとうきび共済

※ 自然災害で収穫量が減少した場合に補償します。
※ 糖度の低下も減収量に換算して補償します。

お問い合わせ先
喜界町役場農業振興課内
大島農業共済事務組合　喜界支所
☎　65-3510

収入保険

※ さとうきび等の減少を広く補償。
※ 病気やケガで収穫できない場合等も補償します。
※ さとうきびに加え全ての農作物が対象！

講演　『農薬適正使用について』

大島支庁　農林水産部・・・石原　美紀　氏

農薬の使用基準の努力義務

- 有効期限切れの農薬は使わない
- 農薬を使用した日、場所、作物、農薬の種類、量などの記帳
- 航空散布や住宅地周辺での散布で、農薬が飛散しないようにすること
- 土壌くん蒸の被覆期間を守り、揮発防止に努める

農薬ラベルの内容を正しく理解し
適正作物、使用回数を守りましょう

- 風の強さや風向きに注意しましょう
- 散布は方向や位置に気を付けて
- 適切なノズルと圧力で散布しましょう
- 散布量は適切に
- 散布器具はよく洗いましょう
- 散布後は、手洗い・うがいをしっかり

農薬を正しく使用するために！

●散布前には・・・
　ラベルを必ず読む！
●散布時には…
　使用基準は必ず守る！
　防護服・防護具は必ず着用！
●散布後には…
　器具はきちんと洗う！
　農薬はきちんと保管！
　必ず記録しましょう！
●収穫・出荷前には…
　使用した農薬は適用農薬でしたか？
　使用回数・散布時期は守れていますか？

農薬はきちんと保管・管理しましょう

- 安全な場所に鍵をかけて保管・管理を徹底
- 誤飲や誤用を防ぐためペットボトル等への移し替えは絶対に止めましょう
- 品質の保証が出来ないことから、有効期限は守りましょう
- 空容器は産業廃棄物として正しく処分、処理するように努めましょう

ここがポイント

使用した農薬の記録を残しましょう

- 散布後は、ほ場毎に使用農薬や作業内容を記録する習慣をつけましょう

【記帳する内容】

- ◆ 農薬を使用した年月日
- ◆ 使用した農薬名（有効成分名）
- ◆ 農薬を使用した場所
- ◆ 農薬の使用量・希釈倍率
- ◆ 農薬を使用した農作物
- ◆ 気象条件　など

収穫時期も確認

記録は安心・安全な農産物生産の基本です

春植えしよう！

1月			2月			3月			4月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬

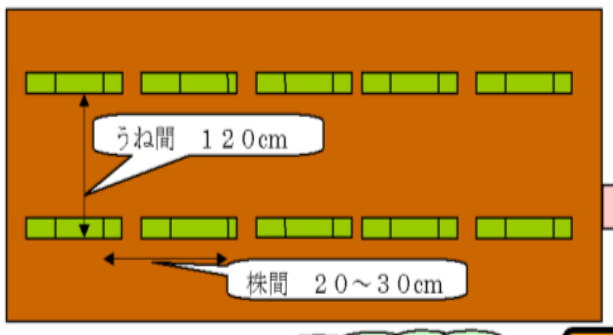
植付けの適期

適期植付けで
単収の確保

近年、メイチュウ被害を受けている圃場をよく見かけます。
収量向上には、茎数確保が絶対条件です。 しっかりメイ虫対策をして収量を向上させましょう！

植付け方法

基本的な栽植様式



苗の置き方

覆土は３cm 程度

正しい苗の置き方

原料茎数を増やす

除草

雑草の種類や生育時期に合った除草剤の適期散布

除草の基本的な考え方

適期の中耕

原料茎数を増やす
原料茎重を大きくする

重要！

注意

農薬の調整・散布の際は必ず着用しましょう！

“慣れている” “面倒くさい”からということで軽装で行わないようにしましょう。

編集後記

昨年も8月中旬までは、適度な天候に恵まれさとうきびも良好に生育していた。「今年は豊作だ！」と言う嬉しい声も聞かれていたが、その後の台風19号、24号と相次ぐ接近、通過によりさとうきびは乱倒伏や折損、潮風害の被害に見舞われ、増産基金まで発令される事態になった。今期は、平成最後の年で豊作を期待していただけに残念でならない。年内に搬入されたHV刈りのきびを見ると根株が多く、このままでは株出の茎数が少なく株出単収が低くなると思う。
台風後は、根が揺さぶられ株上り等が起こりHV刈取り時に根株が引き抜かれてしまう。補植を行い茎数の確保と株出管理の徹底に努めていただきたいものです。